

## 2008 年度第 1 回理事会総会議事録

2008 年 4 月 26 日 (土)

日時 : 2008年4月26日 (土) 15時45分～17時30分

場所 : 東京大学本郷キャンパス・工学部14号館141番教室

### 【開会の宣言】

大澤事務局長より、総会に先立ち4月17日～24日開催のインターネット理事会について報告された。(1)44名から回答があり(うち委任した者6名)、理事総数56名の78.6%にのぼることから会則第16条4項の規定により理事会が成立したこと、(2)第1号～第5号議案まで、44名全員に承認されたこと、が報告された。

なお、総会出席者数は34名、委任状提出者は212名である。

### 【議長指名】

事務局より、慣例では次期会長が総会議長を努めるとの提案があり、次期会長候補者柴崎理事が議長に指名された

### 【第1号議案】

大澤事務局長より、「平成19年度事業報告」「国立大学教育研究評価委員会の選考過程について(報告)」「平成20年度科学研究費補助金(研究成果促進費)の交付内定」について説明があった。科研費については、KAGIS及び東アジアの研究者を招聘してのシンポジウムに充てられることが説明された。

今井総務担当理事より、「GIS学会法人化検討の経過報告」について説明された。GIS学会は任意団体のため、一般社団法人を経由する必要がある旨の説明があった。また、今後検討を進め、秋の総会において、法人化に向けた会則等の見直しを提案させていただく旨報告された。

→ いずれも承認された。

### 【第2号議案】

大澤事務局長より、「平成19年度会計報告」について説明された。

また、東明監査役より、「平成19年度監査報告」があり、上記について間違いのない旨、報告された。

→ いずれも承認された。

### 【第3号議案】

## 2008 年度第 1 回理事会総会議事録

2008 年 4 月 26 日 (土)

大澤事務局長より、「2008-2009 年度会長、副会長、監査役候補」について、理事会からの推薦について説明された。

→ 柴崎会長、吉川副会長、大佛監査役、長坂監査役が承認された。

柴崎会長：情報の流通、オーダーについて、専門家集団として積極的に関わるべきである。執行部は会員からのインプットが無いとアウトプットが困難となるので、皆さんからのご協力をお願いしたい。

吉川副会長：遠方（大阪）だが、学会発展のために尽力したい。

長坂監査役：宜しくをお願いしたい。

大澤事務局長より、「所属委員会一覧」について説明された。これは全理事に 2 月に希望アンケートをとった上ではあるが、必ずしも第 1 希望ではない旨の説明があった。

→ 「所属委員会一覧」の通り承認された。

大澤事務局長より、「学会顧問の名誉会員への推薦及び新規名誉会員の推薦について」提案された。

→ 提案は承認された。

### 【第 4 号議案】

大澤事務局長より、「平成 20 年度事業計画」の説明があり、以下の質疑があった。

質問：メールマガジン発行準備の進捗状況は？

答え：作業に取り掛かったところである。

サーバ（資金面も含め）管理等、考える必要もある。

質問：新規事業 6「委託研究」、7「2009 年に向けての計画」の具体案は？

答え：6 は今後の決意表明に過ぎず（法人化取得後のこととなるので、今年度の事業には間に合わない）、7 も事業ではないので、資料から削除する。

→ 事業計画は、新規事業 6「委託研究」、7「2009 年に向けての計画」を削除して承認された。

落合会計担当理事より、「平成 20 年度予算」について以下の説明があった。

収入の部「会費収入」の算出方法を会員数×会費の合計としたため、「会費収入」が実績見通しよりも多く計上され、一方で、支出項目は基本的には前年度実績に準じて計上してあるため、「予備費」の額が大きくなっているが、実際はこのような余裕はない。

また、法人化に向けて、新しい会計基準に沿った予算及び会計処理とする必要が出てくるので、10 月の総会時に経理規程を改訂し、改定後の規定に基づいた予算の組み替えが必要となる見通しである。予算の組み替え時に、回収できない会費の償却の計上や、「過年度会

## 2008 年度第 1 回理事会総会議事録

2008 年 4 月 26 日 (土)

費収入」の扱いなどを検討する。

質問：広報委員会より、HP の更新（ブログ化）およびレンタルサーバ借上げを秋までに実施する予定となっているが、予算に考慮されているか、質問があった。予算を計上することを検討したい。

答え：HP の更新（ブログ化）およびレンタルサーバ借上げに必要な予算が不明なため、含めていない。しかし、今後は、これまでのような単年度で収支をバランスさせる予算ではなく、正味財産の有効活用化などで学会活動を活性化するための事業への対応が必要となると思われるので、本件の事業が計画されていることを了解した。今回の予算案は当初予算として承認されたい。

→ 予算は、当初予算として承認された。

### 【第 5 号議案】

柴崎大会本部長より、「平成 20 年度第 17 回 GISA 研究発表大会について」説明された。場所が生産技術研究所である旨、訂正された。

→ 大会について承認された。

### 【他・新委員長挨拶など】

小口渉外委員長：5 月 28 日、日本地球惑星科学連合大会で「GIS セッション」がある旨、報告があった。

河端広報副委員長：魅力的な HP で会員を増やしていきたい。

(なお、メールマガジンの担当は事務局である)

貞広大会実行委員長：多数の参加を希望する。

碓井学会賞委員長：引き継いで、努力したい。

岡部教育委員長：日本学術会議への提言にも尽力したい。

奥貫全国連携委員長：地方事務局間の情報交換を行い、負担の軽減を図るようにしたい。

太田 GIS 技術資格認定協会員：現在 90 名ほどの認定者がいる。2012 年に特例措置（GIS 教育を受けていなくとも、経験を判断する措置）がなくなるので、特に先生方に積極的に資格を取っていただきたい。

大澤事務局長：いざというときのために、各委員長にはドキュメンテーションの提出を、繰り返しお願いしたい。

今井総務担当：事務局での仕事配分のため、各委員長にはタイムテーブルの提出をお願いする。

落合財務担当：秋の大会での総会は、定款の承認など一連の法人化関連事項で重要案件が多いので、時間の確保をお願いします。

2008 年度第 1 回理事会総会議事録

2008 年 4 月 26 日 (土)

牧野理事：2010 年の新潟大会は、10 月 15 日 (木) ～16 日 (金) に開催される。

古今書院：『GIS 理論と応用』の委託販売をすることとなった。大学図書館への積極的な呼びかけをしていきたい。

【閉会の宣言】

議長より閉会が宣言された。